



発行  
社会福祉法人正和会

発行責任者 菅原 哲  
編集責任者 伊藤大士

季節のおでんを楽しもう！

十一月十九日、啄木鳥の畑で収穫された大根を使って、おでんづくりを行いました。なかなか立派な大根がたくさんできました。中には縁起のいい二股大根も。

ユニークな形の大根を見ると思わずクスッと笑顔になりますね。



大根の他にも卵、ジャガイモ、昆布、はんぺん、ちくわ、厚揚げなど様々な具材が用意され、お鍋でじっくりコトコトおいしく煮込まれました。前日から仕込んだ甲斐があり、夕食として提供されたお出汁がしみしみのおでんは、格別で心も体も温まりました。



新米も頂きました！

また、おでんと一緒に提供されたおにぎりは、「うちでとれた新米を皆に食べてもらいたい！」という利用者よりいただいた新米で作りました。ご厚意に感謝いたします。もちろんこちらも格別の味で、新米ならではの優しい甘みを感じられ、この時期にしか味わえない秋の味覚を楽しみました。



まるで二本の足で、モデルのようにしっかり立っている大根です。

堂々と立つその姿はユーモアに溢れ、畑でとれた小さなサプライズと言えるでしょう…

もちろん味は他の大根と変わらず、瑞々しく美味しさそのままです。利用者、職員の間で美味しく頂きました。







九月中旬、アサヒグループがランサムウェア（身代金要求型ウイルス）のサイバー攻撃を受け、システム障害が起こったというニュースが流れました。この時は、どこか遠いところの話で自分にかかわりのない事件だと思っていました。しかし十月下旬、今度は通販サイトのアスクルが標的となり、一切の注文の受付、発注が出来なくなりました。ケアコンプレックス湯上はアスクルを利用していましたので、施設で使用する物品の確保をどうすればよいか頭をよぎりました。幸い、今のところアスクルで購入していた物品のほとんどはドラッグストアやスーパーで購入できていますが、買い出しに行く回数と量が増えてしまいました。十一月時点でアスクルは、一部商品が注文できるようになりましたが、まだ完全には元に戻っていません。

有名企業のシステム障害というニュースを聞いても、自分には直接かわりないことだと思っていました。いつでも自分たちの身にも起こりうる可能性があるということを考えさせられました。施設内の自動販売機もアサヒの商品の売り切れの表示が目立ってきてしまいました。

利用者様の楽しみの為にも、早い復旧を心待ちにしています。

## かぼちゃのスイーツ作り

このとりで、かぼちゃのスイーツを作りました。秋らしい、かぼちゃの黄色が卓に並ぶだけで、全体がパツと明るくなるようです。ふわっと広がる甘い香り、混ぜて出来上がり待つまでのワクワクは秋を感じるひとときそのものです。

これから冬に向かう中で、秋のぬくもりを感じる、そんな行事となりました…



## 編集後記

この十一月は、介護に関わる様々なニュースがありました。

①介護職の処遇改善に向けた臨時改定、そして②ケアマネジャー試験の実務要件緩和と、どれも今後に影響する大きな動きでした。

①臨時改定は、急速な物価高や人件費の上昇を受けて、通常三年ごとの報酬改定を、今回は、一年前倒しで行われることとなります。人材流出を防ぐ対応や、介護サービスを

円滑に継続するために必要な支えとなっております。

また、②ケアマネ試験の実務要件緩和について、従来の五年が三年に緩和される動きもあります。無資格から介護福祉士を取得してケアマネを辿ると、最短で八年ほどかかります。実現すれば今後、若い世代がケアマネを目指しやすくなります。これから本格的に冬を迎えますが、ニュースだけは明るく心温まりたい、今日この頃です。

